



Science Winds

サイエンス・ウインズ

関西学院大学理学部同窓会 コミュニケーション・レター

NO.
Nov.
2005

1

本同窓会報創刊に際して

関西学院大学理学部同窓会会長 中條 道雄

理学部同窓生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび理学部同窓会役員の皆様の発案により「同窓会報」を発行することとなり、ここに創刊号をお送りすることとなりました。この発刊にあたり同窓会の皆様、篠原理工学部長をはじめ事務室の皆様にも多大なご尽力をいただいたことをまずお礼申し上げます。この会報が同窓会会員の皆様との情報交流および理工学部と同窓会の新しいつながりを推進するコミュニケーションのチャンネルとなることを願っております。

創刊号では篠原学部長より同窓会へのメッセージと理工学部の近況のご報告をいただきました。篠原先生のご報告にもありますようにわれわれが上ヶ原で学んだ理学部は生命科学科、情報科学科を加えて理工学部へ発展改組され、神戸三田キャンパスで大きな飛躍を遂げつつあります。この最新状況については同窓の皆様も大いに興味を持っておられることと思われまので4つの学科の紹介を事務室のご協力を得て掲載させていただきました。今後は理工学部の進展状況とともに恩師・同窓の皆様のニュースなども掲載させていただければと願っております。

本年の同窓会総会は11月19日(土)に上ヶ原キャンパスの関西学院会館で行われることになりました。このご案内も掲載しておりますのでご覧いただき、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。なお、案内にも書かせていただきましたが、来年3月には理工学部生として入学した初めての卒業生が誕生することに伴い、今後の更なる発展を目指して同窓会の名称を「理工学部同窓会(仮)」と変更することをこの総会において提案させていただいて承認していただきたく願っております。

同窓会報は創刊されたばかりです。今後これを成長させていきたいと願っておりますので同窓の皆様からのご支援をたまわりますようお願いいたします。ご意見・ご提案などを積極的に寄せください。

理工学部としての新たな出発

関西学院大学理工学部長 篠原 彌一

理学部同窓会には、このたび会報を発行されることになり、お喜び申し上げます。また、平素より、理工学部にご支援を賜り心より感謝いたします。

1961年に物理学科と化学科の2学科で創設されました理学部は、2002年4月に情報科学科と生命科学科を新設し、理工学部として新たな出発をおこないました。それに先立ち、2001年夏には神戸三田キャンパスに最新の設備を持った校舎を建設し、上ヶ原キャンパスから移転しました。理工学部も今年度は4年目を迎えており、来年3月には初めての卒業生を社会に送り出します。理工学部は入学定員が360人で、教員も59名の専任教員と5名の英語常勤講師(ネイティブ・スピーカー)で構成され、理学部に比べてその規模は随分大きくなりました。しかし、家族的な雰囲気など、理学部が持っていた少人数教育の特色は理工学部にも引き継がれています。建学の精神であるキリスト教主義教育を背景に、豊かな国際性と人間性を備えた人材を社会に送り出していきたいと願っています。幸い、理工学部の教育と研究の活動は以前にも増して活発です。本年4月には尾崎幸洋教授が文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞され、さらに7月には理工学部の英語教育が「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されるなど、力強い理工学部へと発展を続けています。

大学院につきましても、2004年4月に、従来の物理学専攻、化学専攻に加えて、生命科学専攻を新設し、研究科の名称も理学研究科から理工学研究科に変更しました。さらに、本年5月末に2006年4月からの情報科学専攻前期課程・後期課程の同時設置と既存3専攻の入学定員増の届け出を文部科学省に行い、認可を受けました。専門的に高度な知識と研究能力を備えた人材が広く求められており、大学院進学者は年々増加しています。このような社会や学生諸君の要請に応じていくとともに、大学院における研究活動を通して、理工学部のさらなる活性化を図っていくことが出来るものと確信しています。理工学部への変わりぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。末筆になりましたが、理学部同窓会並びに会員の方々の益々のご発展をお祈りしています。

サイエンス・ウインズ No.1 (2005)

発行 関西学院大学理学部同窓会 2005年11月1日

SCIENCE WINDS: Communication Letter from the Alumni Association of the School of Science of KGU

〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1 関西学院大学神戸三田キャンパス(KSC) 理工学部事務室内

URL <http://www.kgus-alumni.org/> E-mail : info@kgus-alumni.org

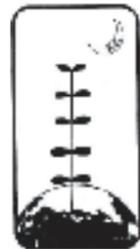
Contents

P1 同窓会報創刊に際して
理工学部としての新たな出発

P2 理工学部の紹介・

P3 2004年度総会報告

P4 2005年度総会案内他



Mastery for Service
Sci & Tech KGU

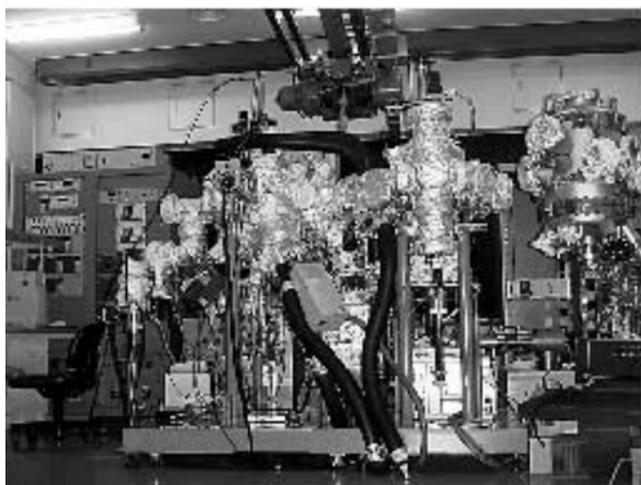
関西学院大学理工学部ご紹介

物理学科

●物理学専攻 ●数学専攻

物質世界への好奇心に端を発した物理学は、その時代における最先端の数学を積極的に取り入れ続けることで急速かつ高度な進化を遂げてきました。「物理学専攻」と「数学専攻」を擁する本学科では、最も理想的な体制で知のフロンティアとしての現代物理学を学び研究することが可能です。

「物理学専攻」では高エネルギー物理学、宇宙物理学をはじめとする自然界の最も根源的な領域の探求から物性理論、新素材探求、ナノテクノロジーに至る物質科学の最先端、さらには生命現象を物理学の視点から解明しようとする生命物理まで、極めて幅広い領域の現代物理学を学びます。「数学専攻」では物理学の基礎知識の上に代数学、解析学、幾何学、確率論などの現代数学の基礎理論を徹底的に学んだ上で、情報科学や工学分野からの要請も強い数値解析・数理統計などの応用数理について重点的に学びます。

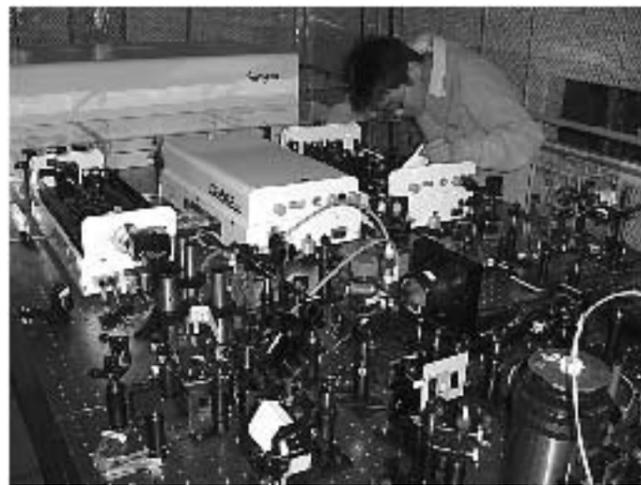


高機能分子線エビタキシー装置：原子一個厚さの半導体薄膜を超高真空中で自由に蒸着・剥離します。

化学科

化学は、最も基礎的な学問領域として、数学や物理学と相互にリンクしながら物質文明の発展を力強く支えてきました。物質・エネルギー・環境・生命といった現代社会のキーワードは、すべて化学と密接に関わり、化学分野における研究成果に熱い期待が寄せられています。本学科は3つの分野で構成され、それぞれの切り口から化学の最前線の知識・技術を身につけます。

「物理化学」では、光・エレクトロニクス技術を担う機能性材料や生体物質の構造と機能に関する研究、および光エネルギー変換に関する研究を行います。「無機・分析化学」では新しい特性や多様な構造を持つ無機化合物の合成・機能解明を主な研究テーマとします。また「有機化学」では、環境調和型有機合成反応の開発や生理活性天然物の合成について研究します。ナノ材料から無機物、生体物質、医薬・生理活性物質など、すべての物質に対して化学的なアプローチを図ります。



広波長域ポンプ・プローブ極短パルスレーザーシステム：20~100fs程度(1fs=1千兆分の1秒)の波長可変パルス光を出力し、励起状態の超高速現象を時間分解して追跡します。

生命科学科

21世紀は生命科学の時代と言われます。ヒトゲノムに代表されるゲノム情報の解読によって遺伝子の塩基配列が明らかになりつつあるいま、生命科学の研究テーマは、生物の種や生命体の構造など、最も根源的な問題に迫ろうとしています。生命の本質や謎が明らかにされれば、老化のメカニズムや、癌をはじめとする難病の克服など、これまで永遠の謎と思われていた生命現象の解明さえも、夢ではなくなるかもしれません。その一方で、環境ホルモンや遺伝子組み換え、クローン羊など、倫理的な課題も新たに生じています。本学科では、ポストゲノム時代の最前線の知識・技術を学ぶとともに、生命と環境のホメオスタシス(平衡)を視座においた研究アプローチを重視。グローバルな発想で環境調和型社会に貢献する人材の育成をめざします



飛行時間型質量分析装置(TOF-MS/MS)：細胞で機能している特定のタンパク質を見つけた(プロテオーム解析)、タンパク質の修飾を瞬時に解析できる装置です。

情報科学科

「情報科学」といえば、情報処理の知識やノウハウを学ぶ学問、つまりコンピュータの知識・技術に終始した学問だと捉えられがちです。しかし本学科はそうした狭義な解釈にとどまることなく、情報そのものを研究対象として学び、情報技術をいかす可能性を全方位に追求します。そのため、本学科では情報の構造や機能性をあらゆる角度から分析し、情報の本質と可能性を探ります。そして自然科学、金融、経済、通信、流通といった既存の研究分野から、精神世界やアートメディア、エンターテインメントに至るまで、さまざまな領域の学術文化と情報技術とを融合させたクロスボーダーな研究活動を推進。さらに高度に進展してゆくサイバー社会の全領域を担う、広角かつ創造的な知力の習得をめざします。



モーション・キャプチャー：マーカをつけた人の動き(モーションデータ)を、8台のカメラで1秒間に最大200コマの画像を撮り、マーカの3D位置を検出することによって、リアルタイムに取り込みます。この装置を用いてダンス動作やピアノ演奏の解析やアニメーション生成を行っています。

2004年度関西学院大学理学部同窓会開催

<11月13日、ホテル竹園芦屋>

2004年度(第23回)関西学院大学理学部同窓会は、2004年11月13日(土)、ホテル竹園芦屋にて開催されました。

総会では、中條道雄会長の挨拶、篠原彌一理工学部長の挨拶、理工学部の現況報告に続き、会計報告、会計監査報告がなされました。中條会長の挨拶には理工学部の第1回生の卒業を次年度に控え、今後の同窓会のあり方に言及されました。篠原学部長の現況報告では新しい理工学部の活発な教育、研究活動の様子が紹介され、同窓としても安心、また今後の発展に大きな期待を寄せるところです。

恒例の講演会は「半導体超格子の物理：関理学部から生まれたブレークスルー」と題して、1978年理学部物理学科(第14回)卒業で現在大阪市立大学教授の中山正昭氏により講演がなされました。中山氏は、物理学科を卒業後、大学院に進学、卒研に引き

続き瀬川研究室で研究に励まれ修士課程を修了されました。その後、企業で研究に従事されましたが、理学部に当時日本ではまだ珍しく、江崎玲奈先生を客員教授に迎えて指導を仰いだMBEの担当実験助手として戻られ、MBEによる研究を大きく発展させられ、博士号を取得されました。1988年大阪市立大学工学部に助手として奉職され、現在、大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻応用物理学講座の教授として、世界的に活躍中です。

講演では理学部時代の研究や学生生活の思い出に始まり、最近の研究成果にまで及び、懐かしくもあり、また、最新のホットな話題に、専門が関係する分野の同窓だけでなく、専門が異なるものにとっても楽しくお話を聞くことができました。同窓が研究の第一線で世界的に活躍されている姿に、同窓として理学部卒の誇りと頼もしさを感じました。



篠原学部長挨拶



講演会(中山正昭氏)

11月19日(土)
総会 講演会 パーティー

関西学院大学理学部同窓会のご案内

●日時：11月19日(土) 午後5時

●場所：関学会館 風の間、翼の間

電話0798-54-6013

西宮市上ヶ原一番町1-155 関学正門北

●プログラム：

16：30 受付開始(関学会館 2階 風の間前)

17：00 理学部同窓会総会

理工学部の現況 篠原 彌一 理工学部長

17：30 講演会

「樹木医からの木のちょっと気になるお話し」

講師 阪上 栄樹氏(化学科1974年卒業)

18：20 休憩および隣室に移動

18：30 立食パーティー

20：30 閉会

講師紹介

阪上 栄樹(さかうえ えいき)氏

「庭樹園」園主。化学科1974年卒業(前木研究室)、千葉大学大学院園芸学研究科修士課程修了、大阪大学工学部建築学科聴講生。庭樹園に就職、生産卸専業から造園設計、施行、管理、コンサルタントへ業務拡大、1990年園主。樹木医(農林水産大臣認定登録第588号)、兵庫県みどりのヘリテージマネージャー(文化遺産活用推進委員、兵庫県教育委員会登録)。日本造園学会会員、宝塚ロータリークラブ会員、神戸地裁調停委員、学校法人関西学院教育振興会常任委員、その他会員・役職多数

●会費：8,000円

*平成17年3月ご卒業の方は無料御招待

*夫婦で参加される方はお一人5,000円

*終身会費未納の方は当日、年会費2,000円を別途徴収させていただきます。

●出欠の御返事：同封のはがき、ファックス、またはE-mailにて

11月5日(土)までにお知らせください。

E-mail(sokai@kgus-alumni.org)の場合、はがきを参照に必要事項をもれなくご記入ください。住所・電話番号・郵便番号は半角数字で入力してください。住所変更の場合は振込票に印字してある6桁のNO.コードを必ず入力してください。

欠席の方は、年会費(2,000円)、または終身会費(20,000円)の振り込みをお願いします。(この終身会費は、全学の同窓会の終身会費とは別の理学部同窓会独自のものです。)

*返信内容(住所等)は同窓会からの連絡以外に使いません。

*同封の連絡先不明者リスト(事務手続き上更新できていない方もあるかもしれませんがご容赦ください)の中で、住所等をご存じの方がいましたら、同封のはがきにご記入ください。

関西学院大学理学部同窓会

会長 中條 道雄

拝啓 残暑もようやく終わりを告げ、朝晩めっきり涼しくなってきました。理学部同窓生の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私たちの母校、関学理学部が三田キャンパスに移って早や4年が経過し、来年3月には理工学部としての初めての卒業生がキャンパスを巣立ちます。私たち理学部同窓会も、来年度からは「関西学院大学理工学部同窓会(仮)」と名称を変更し、新たな仲間を迎えたいと思っております。

今年の同窓会は、理学部同窓会としての最後の総会、そして新たな旅立ちへの準備の会として、第24回同窓会を左記の通り開催することにいたします。今年は、阪上栄樹氏による講演会、総会、立食パーティーをメインプログラムとして、役員一同皆様をお待ちしております。

今年度末には、豊島喜則先生がご退職されます。お世話になった先生方、新任の先生方、卒業生の皆様方、さらに前年度の卒業生の方々も交えて、楽しい懇親の場にしたいと思っております。皆様おさそい合わせの上、ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

理学部同窓会ホームページ

<http://www.kgus-alumni.org/>

関学のホームページからリンクしています。今年の総会に向けリニューアルしています。是非ご覧ください。

注 意

最近「人事新報社」から関西学院大学の同窓に対して、「関西学院大学理学部同窓名鑑」の案内(往復はがき)が送られてきております。案内の内容は、各人の最新個人情報と購入申込の有無などを記入のうえ、往復ハガキでの返信を依頼するものとなっています。本件につきまして、同ダイレクトメールにも記載されていますが、関西学院大学および関西学院同窓会、理学部同窓会とは、全く関係がありません。関西学院大学および関西学院同窓会、理学部同窓会は、現在、このような「往復はがき」による個人情報の調査は一切行っておりません。「人事新報社」へハガキを返送された場合、関西学院大学および関西学院同窓会、理学部同窓会としては責任を負いかねますので、くれぐれもご注意ください。(関学HPより抜粋。「理学部同窓会」を追加)